

経営トップと仲間たち

22
File



月2回行われる幹部会議では、各自積極的に発言している

職場風土の改革を行い 地域密着型病院の役割を果たす

谷

田病院のある熊本県甲佐町は高齢化が年々進んでおり、地域の

ニーズに合わせて慢性期医療を中心に、介護施設の開設やリハビリテーション、在宅医療と展開してきました。私が理事長に就任してからは医療の質と安全を改めて重視、外部から専門医を積極的に雇用するなど、田舎の病院でも充実した治療をめざしています。

若手の事務長の採用をきっかけに、5年前から職場風土の改革に取り組んでいます。トップダウン式の承認型会議から職員の考えを聞く会議に変えました。以前は何事においても完璧さを求めていて、院内には失敗を怖れる空気がありましたが、職員にもっと任せてみようという考えに変わりました。治療は完璧をめざし、マネジメントは

結果8割でも挑戦する姿勢を重視した

ところ、各部門で協力し意欲的な雰囲気が出ています。特に30〜40代の職員に感じますね。若い世代との交流が増え、院内に活気や面白い発想が生まれています。地域と連携し、健診率アップのための行政保健師のサポートやグランピング・古民家の再生などさまざまな事業もその成果の一つです。お互いを知ること信頼関係が生まれ、本来の意味での多職種連携ができていますと感じます。

急性期病院との連携にも努め、総合診療医を育成して二次救急対応ができる体制を構築しています。当院の患者だけでなく、地域全体のヘルスケアを進めることが慢性期病院の使命だと考えています。

特定医療法人谷田会
谷田理一郎 理事長



「まちづくりへの協力により、さまざまな世代・業種の方と出会えたことが良い刺激になっています」

特定医療法人谷田会
やっだ
谷田病院

1953年に開業した谷田医院を経て、61年法人化。慢性期医療、在宅支援、リハに特化している。85床（地域包括ケア病棟39床、療養医療病棟46床）介護医療院14床